

山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者

CL 西、松下

2. 山城／ルート

屋久島 宮之浦岳縦走他

3. 交通手段

飛行機・バス・車

4. 行動記録

3月5日(水) 神戸から屋久島移動 15:30 淀川登山口出発～16:20 淀川小屋到着小屋泊

3月6日(木) 6:00 小屋出発～8:00 黒味岳分岐 (ピストン黒味岳山頂) 9:15～投石平～12:00 宮之浦岳山頂～12:30 山頂出発～永田岳分岐 12:50 (ピストン)～永田岳山頂～永田岳分岐 15:00～新高塚小屋到着小屋着 16:50 (歩行時間:10h)

3月7日(金) 6時 小屋出発～(7:30着) 縄文杉(8:00発)～(9:30着) ウイルソン株(10:00発)～(10:20) 大株歩道入口～楠川別れ～辻峠(太鼓岩)～白谷山荘～白谷雲水峡～バス停(15:55) (歩行時間:10h)

3月8日(土) 8:00 民宿出発～9:40 屋久杉ランド～蛇紋杉～釈迦杉～12:20 太忠岳周辺～13:10 石塚山～道迷い～16:20 太忠岳石塚山分岐(山弁当)～18:20 屋久杉ランド入口

3月9日(日) 10:20 千尋の滝入口(モッチョム登山口)～11:25 万代杉～13:10 モッチョム岳着(頂上からの風景満喫) 14:00 発～16:40 千尋の滝入口(モッチョム登山口)・・・千尋の滝展望台へ(歩行時間:5.5h)

3月10日(月) 7:30 愛子岳歩道入口～11:00 愛子岳着～頂上からの眺望満喫 12:00 発～14:30 愛子岳歩道入口 (歩行時間:6h)

5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか?

当初8日にモッチョム岳、9日に太忠岳を予定していたが、歩行時間、天候などを考え入れ替えた。太忠岳に向う途中で「近くにもっとすごいところがあるから」とガイドに誘われ、ガイドの客2人と共に石塚山に(そのときはわからなかった)いに行くことになり、空身で行き、帰路はガイドと分れた為道迷いをし大変な目にあった。それ以外は予定通り。

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか?

太忠岳に向う途中で「近くにもっとすごいところがあるから」とガイドに誘われ、安易に何も持たず着いていってしまい、帰路は別行動をとり道迷いをしたが、なんとか一つひとつルートを消し込み元の場所に戻ることができた。

c)パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

安易に計画の変更はしないこと。山で身を守るツールを手離さないことを教訓にする。

6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・3月上旬の避難小屋は、ほとんど宿泊客はおらず、テントは不要だった。淀川小屋は、私たち以外に男性1名しか宿泊者はいなかったし、新高塚小屋も5人の学生パーティーと女性1名しか宿泊客はいなかった。
- ・この季節、ウイルソン株のあたりまでは、静かな屋久島の縦走を楽しむことができる。
- ・白水雲水峡は、楠川歩道より、時間は倍近くになるが、原生林歩道の方が断然おすすめである。静かで苔むしたルートを満喫できる。
- ・この時期、黒味岳、永田岳に向かう人はおらず、静かな奥深い山を十分楽しめる。
- ・3月上旬は、冬装備必携。(軽アイゼン、手袋、ニットの帽子など)
- ・2月下旬から3月上旬に収穫できる「たんかん」(ポンカンとネーブル オレンジの自然交配種)はビタミン豊富でとってもあまく美味しかった。
- ・尾之間温泉(200円)は、住民の銭湯としても利用され、土地の人とのふれあいも出来、非常によかった。
- ・登山弁当は手作りで、コンビ二弁当とはちがい、ボリューム満点でとっても美味しかった。(すっかりファンになりました。)
- ・屋久島の人はとても親切で、旅人を優しく受け入れてくれる。(キョロキョロしてると「どこに行くんだ?」と聞いてくれます。)
- ・今回は山三昧だったが、いい沢もいっぱいあるようなので、また沢登りも楽しみたい。
- ・本当は雨が間で降る予定だったのですが、天候にめぐまれ、しっかり山三昧の屋久島となりました。松下さん、お疲れ様でした。おかげで楽しい屋久島となりました。

報告者氏名：西 2014年3月25日